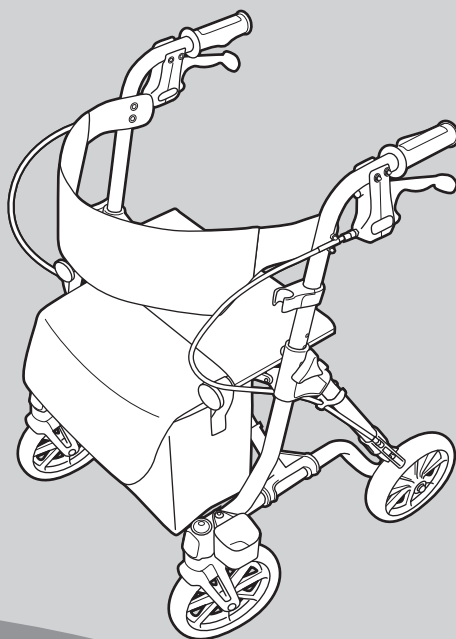


安^{あんじゅ}寿

歩行車

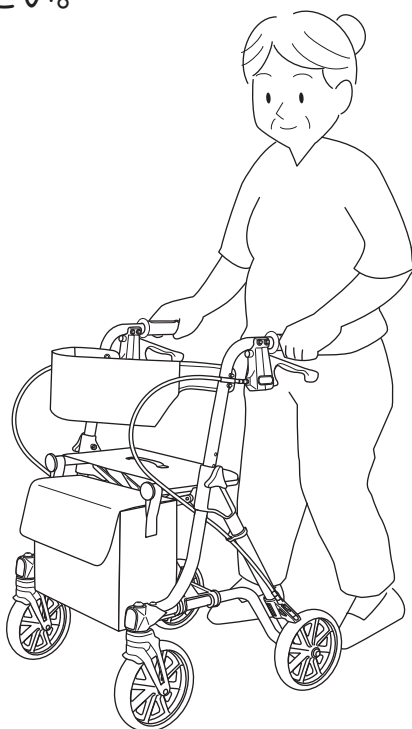
トライリンク

取扱説明書



最大使用者体重：150kg

このたびは歩行車トライリンクをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。この製品は、主として自力での歩行が困難な方の歩行を補助する歩行車です。自立歩行に不安がある場合は、同伴者の付き添いのもとで使用してください。ご使用の際には、専門家（福祉用具専門相談員、作業療法士、理学療法士など）に必ずご相談ください。正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書と保証書を必ずお読みください。



保存版
(保証書付)

ARONKASEI CO.,LTD.

取扱説明書を読んだ後は必ず保管してください。

もくじ

確認しましょう



確認しましょう P. 2～3

- ・各部の名称……………2
- ・商品の寸法図と仕様……………3

安全上の注意



安全上のご注意 P. 4～8

ご使用の前に



ご使用の前に P. 9～13

- ・本体を開きましょう……………9
- ・バッグの取り付け、取り外しかた……………10
- ・杖ホルダーと杖固定具の取付位置変更方法……………11
- ・ハンドル高さを調節しましょう……………12
- ・姿勢保持ベルトの長さ変更方法……………13

使いましょう



使いましょう P. 14～18

- ・操作方法
ブレーキのかけかた……………14
駐車ロックのかけかた……………14
杖の固定のしかた……………15
折りたたみかた……………15
- ・ご使用になる前に確認しましょう……………16
- ・押して歩くとき……………17
- ・腰かけるとき……………17
- ・ご使用いただける環境について……………18

お手入れしましょう



お手入れしましょう P. 19～21

- ・お手入れのしかた……………19～21

困ったときには

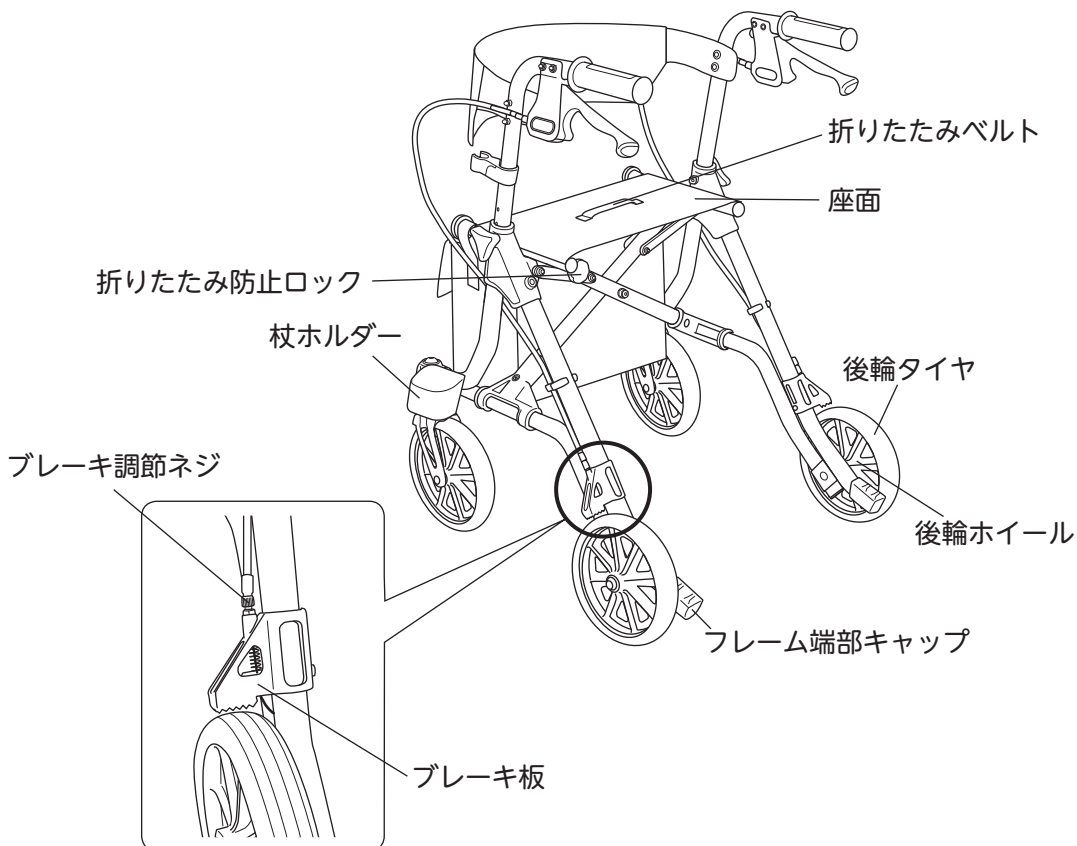
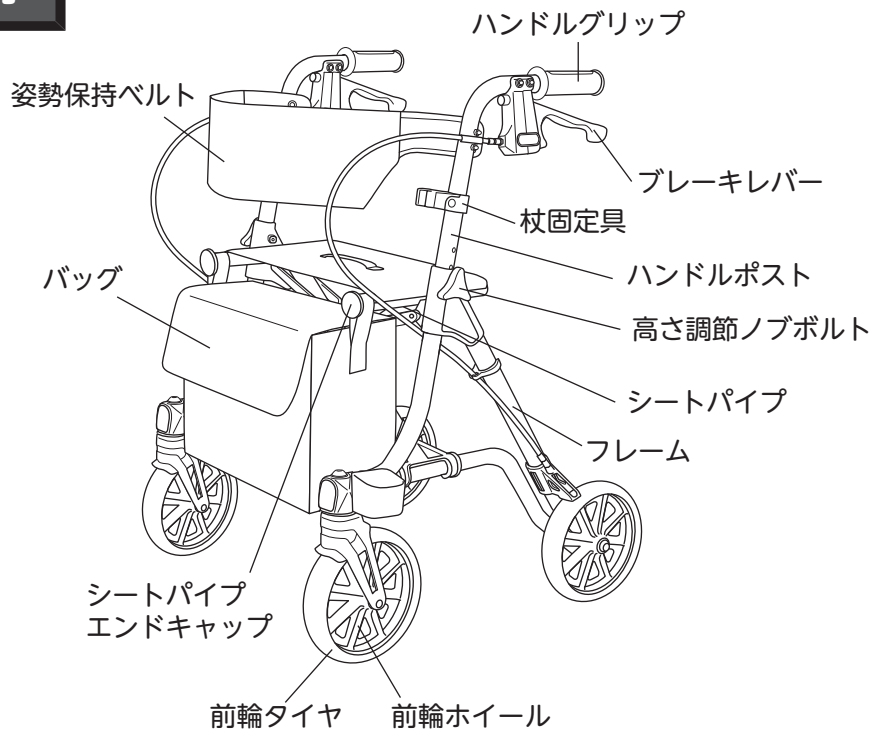


困ったときには P. 22～23

- ・保証とアフターサービス……………22～23

👉 確認しましょう

各部の名称



👉 確認しましょう

! 安全上の注意

✖️ ご使用の前に

👉 使いましょう

💧 お手入れしましょう

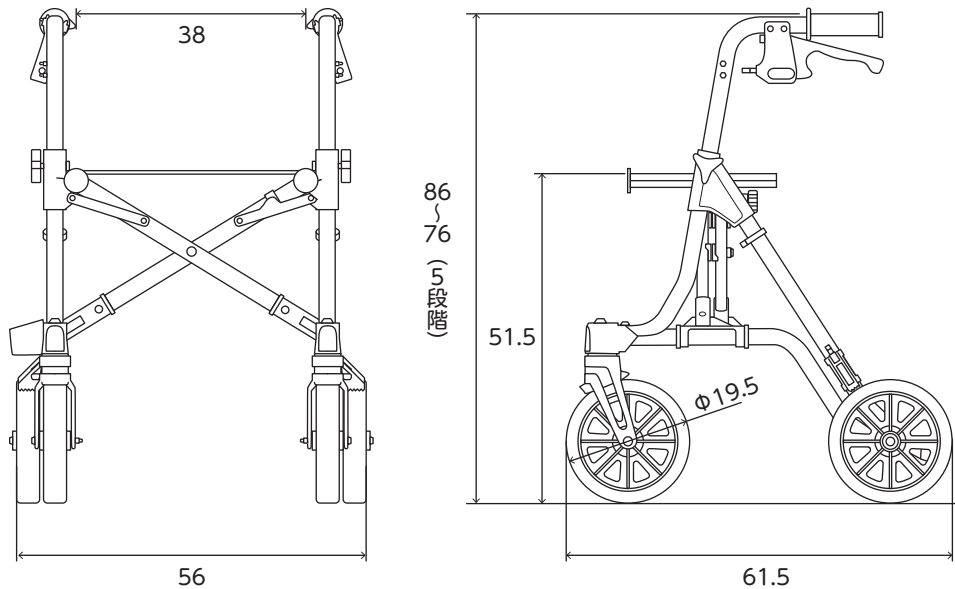
? 困ったときには

👉 確認しましょう

商品の寸法図と仕様

商品寸法図

単位：cm



仕様

品名	歩行車 トライリンク	
	部品名	材質
構成部材	座面	ポリエステル
	バッグ	ナイロン
	フレーム	アルミニウム（液体塗装）
	ハンドルグリップ、タイヤ、フレーム端部キャップ	エラストマー
	ホイール、杖ホルダー、杖固定具、高さ調節ノブボルト（ノブ部）	ポリプロピレン
	ブレーキレバー、ブレーキ板	ポリアミド
	姿勢保持ベルト	ポリエチレン（被覆材：ナイロン縫製品）
サイズ	幅 56cm × 奥行 61.5cm × 高さ 76 ~ 86cm ハンドル高さ 76・78.5・81・83.5・86cm（5段階） 座面サイズ幅 39.5 × 奥行 20cm 座面高さ 51.5cm	
重量	7.1kg	
バッグ容量	約 13L（载荷重 6.5kg 未満）	

廃棄上のご注意

お住まいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

確認しましょう

！安全上の注意

✕使用前の

使いまし

お手入れ

？困ったときには

！ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

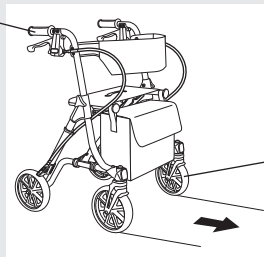
！ 必ず行うこと ！

使用前に、必ず以下の作動を確認してください。転倒やけがの原因になります。

ブレーキ、駐車ロックが左右両輪とも正しく作動すること

車体が勝手に動き出す原因になります。

駐車ロックして座面に座り、ロックの利き具合を確認すること



ガタつきなくまっすぐに走ること

バランスをくずす原因になります。

各車輪がしっかりと固定され、スムーズに回転すること

歩行中に車輪が外れる原因になります。

使用前に、必ず以下の項目や、ゆるみや劣化がないかを確認してください。転倒やけがの原因になります。

タイヤおよびブレーキに摩耗がないことを確認し、必要に応じて交換すること

ブレーキがきかずに転倒する原因になります。

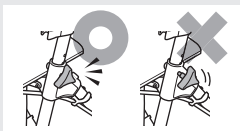
詳しくは…P.21「タイヤ交換時期の目安」へ

各部のネジやナットがゆるんでいないか確認すること

詳しくは…P.16「各部のネジやナットがゆるんでいないこと」へ

高さ調節ノブボルトがしっかりとしまっていること

歩行中にハンドル高さが変わり、バランスをくずす原因になります。



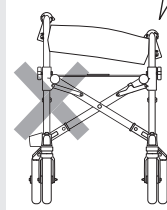
ハンドルがガタつかない

詳しくは…P.12へ

ハンドル高さは左右同じ高さにすること

左右のハンドル高さが異なると車体が転倒し、けがの原因になります。

ハンドル高さが異なる

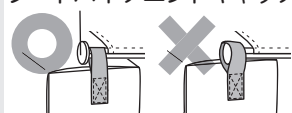


バッグが正しく固定されているか確認すること

外れたバッグに、車体がかかり、バランスをくずす原因になります。

バッグ固定部のベルトがシートパイプエンドキャップの奥側にかかっていることを確認する。

シートパイプエンドキャップ



本体が完全に開いているか確認すること

中途半端に開いていると、バランスをくずす原因になります。折りたたみベルトを引き上げて本体が折りたたまれないことを確認する。

折りたたみベルト



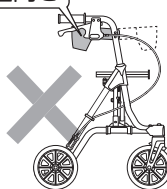
ハンドル高さは規定の高さ（86cm）を超えずに設定すること

規定の高さ以上に設定すると、バランスをくずして転倒する原因になります。

姿勢保持ベルトが正しい向きで取り付けられていること

姿勢保持ベルトを外したり、逆向きに取り付けることはおやめください。着座したときにそのまま後ろに転倒し、けがの原因になります。

逆向き



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用前の

使いまし

お手入れ

？困ったときには

！ 安全上のご注意



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

！ 必ず行うこと ！

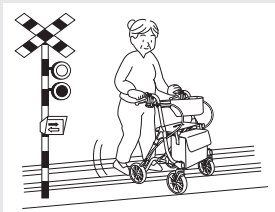
車体の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止すること

重大な事故につながるおそれがあります。

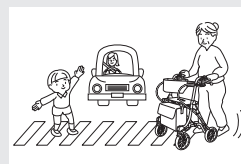
身体状況が不安定な方（ふらつきがある方や認知症の方）には、介助者が付き添うこと

以下の環境では十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

坂道、踏切の横断では十分に注意すること



交通量の多いところ、混雑しているところでは十分に注意すること



段差および溝のあるところでは十分に注意すること

段差の手前では必ず止まり、十分に注意して慎重に段差を越えてください。

また、段差に斜めに進入すると、ハンドルをとられたり、段差に乗り上がりずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。



夜間など、見通しの悪い環境では十分に注意すること



滑りやすい床での使用では十分に注意すること

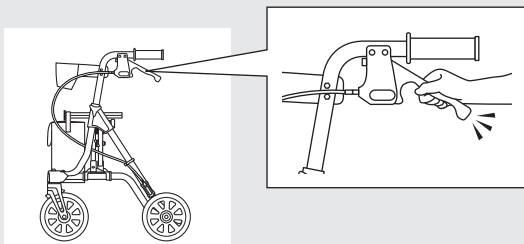
- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など



以下の点に、十分に注意して使用してください。転倒やけがの原因になります。

以下のときは必ずブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかけること

- ・車体からはなれるとき
- ・座面に座るとき
- ・座面から立ち上がる時



車体が不意に動きださないよう、左右両輪が止まっていることを確認してください。

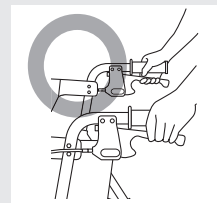
ハンドルグリップは両手で操作すること



片側のみを持って操作しない

ブレーキは左右同時にかけること

片側のみでブレーキをかけると、車体が転倒し、けがの原因になります。





警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

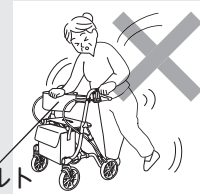
絶対にしないこと

以下の使い方をすると、転倒やけがの原因になります。

姿勢保持ベルトに手や肘をつけて体を支えないこと

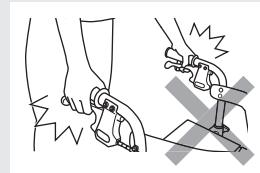
バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。

姿勢保持ベルト



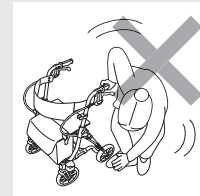
平地を歩行するとき、ブレーキをかけた状態で押さないこと

転倒し、けがの原因になります。



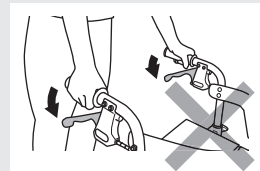
立ち上がり、立ち座り時の手すり代わりにしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



駐車ロックがかかった状態では押さないこと

転倒し、けがの原因になります。



ハンドルに寄りかかったり、過度の荷重をかけないこと

車体が前に移動し、転倒やけがの原因になります。



座面に人を乗せたまま移動しないこと

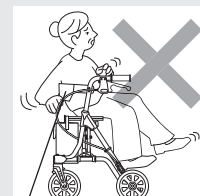
車体が転倒し、けがの原因になります。



姿勢保持ベルトに体を預けて寄りかからないこと

姿勢保持ベルトは姿勢を安定させるための補助的なものです。

姿勢保持ベルト



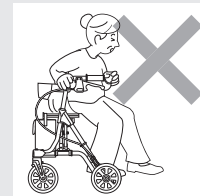
踏み台として利用しないこと

車体が転倒し、けがの原因になります。



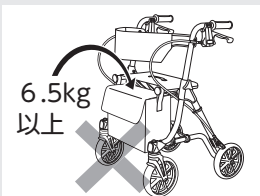
座面に浅く座らないこと また、座面以外のところには座らないこと

車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



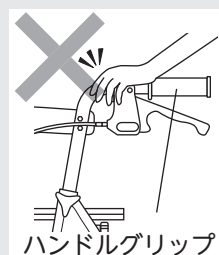
付属のバッグには6.5kg以上の荷物を入れないこと

転倒や故障の原因になります。



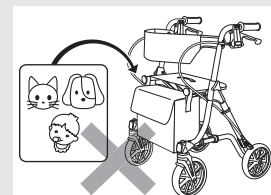
ハンドルグリップ以外の場所を持って歩行しないこと

車体が転倒し、けがの原因になります。



付属のバッグに乳幼児やペットを入れないこと

思わぬ事故の原因になります。



確認しましょう

安全上の「注意」

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

！ 安全上のご注意



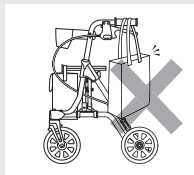
警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

⊘ 絶対にしないこと ⊘

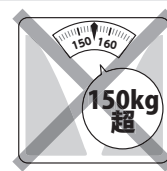
バッグの中以外に荷物を乗せたり、吊るしたりしないこと

バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。

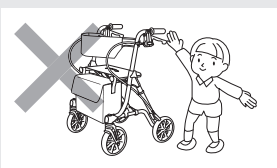


体重が 150kg を超える方は使用しないこと

車体が破損し、けがの原因になります。



小さなお子様には使用させないこと



改造はしないこと
また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと

本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。



分解禁止

座面に座ったまま、足で歩行車を移動させないこと



以下の環境では使用しないでください。転倒やけがの原因になります。

雨、雪の日など路面が滑りやすい時は使用しないこと



傾斜地では腰かけないこと

車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



風の強い時は使用しないこと

車体が勝手に動き出す原因になります。



砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと

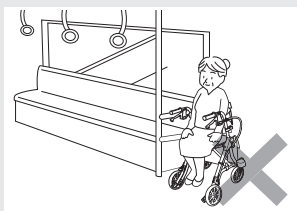


階段やエスカレーターでは使用しないこと

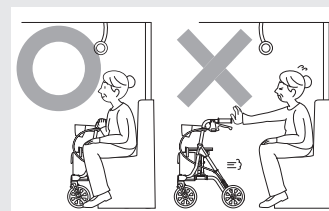


乗り物に乗るときは以下の行為をおこなわないでください。車体が転倒しけがの原因になります。

バス、電車などの乗り物内では腰かけないこと



バス、電車などの乗り物内で折りたたみした場合、歩行車から手を離さないこと



確認しましょう

！安全上のご注意

✕ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには



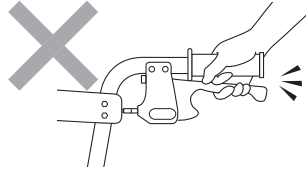
注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

絶対にしないこと

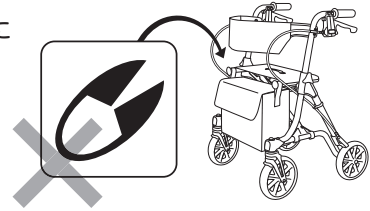
ブレーキレバーとハンドルグリップの間に指を入れたままブレーキをかけないこと

指をはさみ、けがの原因になります。



付属のバッグには鋭利なものを入れないこと

破損や故障の原因になります。



傾斜地では歩行車から手を放さないこと

車体が動きだし、予期せぬ事故につながるおそれがあります。

●お手入れ・保管時の注意 以下の行為をおこなうと、製品の変色や劣化がすすむ原因になります。

次にあげるものではお手入れしないこと

劣化および破損の原因になります。

- ・シンナー ・クレゾール ・熱湯
- ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒
- ・磨き粉 ・塩素系洗剤
- ・酸、アルカリ性洗剤 ・タワシ
- ・研磨剤入りのスポンジ
- ・その他製品を傷つけるもの



消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いないこと

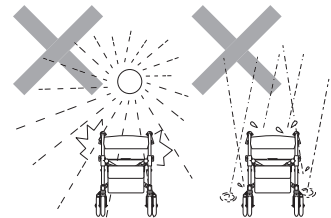
製品が破損する原因になります。

詳しくは…P.20「消毒方法」へ

屋外に放置したり、直射日光に長時間当てたりしないこと

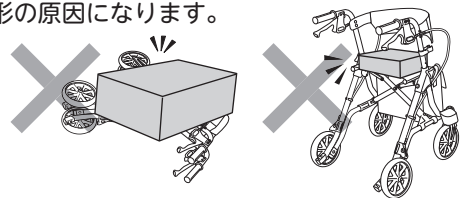
金属部がさびて故障の原因になったり、紫外線による色落ちの原因になります。

直射日光を避け、乾いたところ、風通しの良いところで保管してください。



荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと

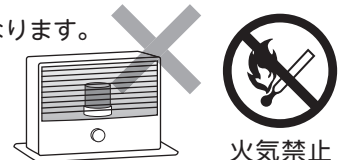
故障や変形の原因になります。



火気に近づけないこと

また、夏季の車内など高温になる場所には保管しないこと

故障や変形の原因になります。



確認しましょう

！安全上の「注意」

✖ご使用の前に

♡使いましょう

💧お手入れしましょう

？困ったときには

✳ ご使用の前に

高さ調節は、使う方の体格や立ち座り動作がしやすいようお買い上げの販売店やケアマネジャーなどの専門家に相談することをおすすめします。

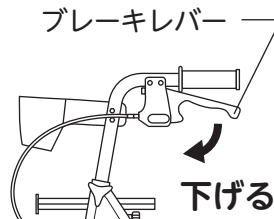


組み立て、および調節は確実にこなってください。

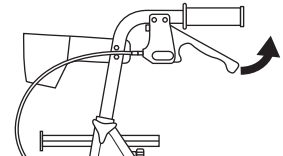
本体を開きましょう

1. 駐車ロックをかける

左右両方のブレーキレバーを自動で戻らなくなるまで、手で押し下げます。



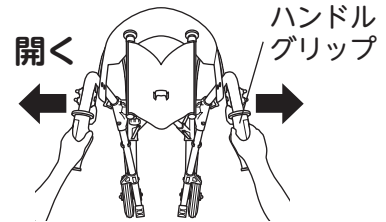
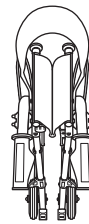
駐車ロックがかかった状態



2. ハンドルグリップを持って両側に軽く開き、上から押す

① 歩行車の後方に立ち、左右のハンドルグリップを持って、両側に軽く開きます。

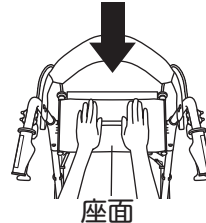
①



② 座面の両端を、右図のように上から手で押し下げます。

②

押す (Push down)



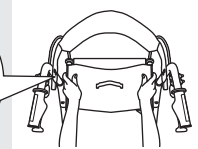
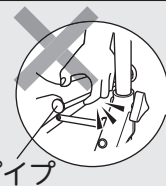
注意



シートパイプの横や下に手や指を置かないこと

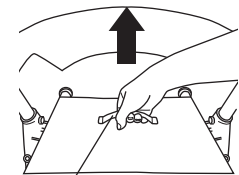
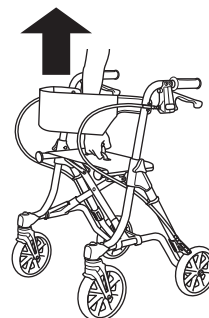
手をはさまり、けがをするおそれがあります。

シートパイプ



3. 本体が開ききったことを確認する

折りたたみベルトを引き上げて、本体が折りたたまれないか確認してください。



折りたたみベルト

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

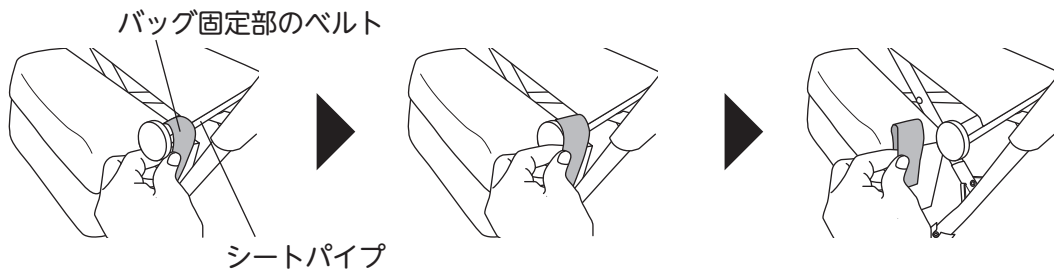
困ったときには

バッグの取り付け、取り外しかた

バックは取り外して使用できます。出荷時は取り付けられた状態です。

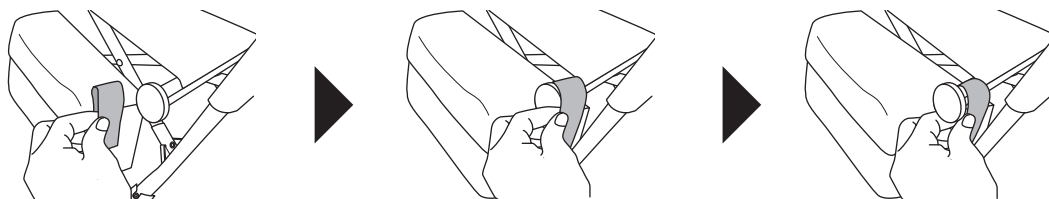
バッグの取り外しかた

バッグ固定部のベルトをシートパイプから抜いて取り外してください。



バッグの取り付けかた

バッグ固定部のベルトをシートパイプに差し込んで取り付けてください。

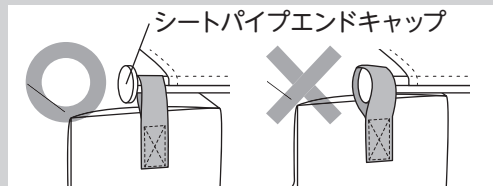


警告



バッグが正しく固定されているか確認すること

外れたバッグに、車体が増り上げ、バランスをくずす原因になります。



バッグ固定部のベルトがシートパイプエンドキャップの奥側にかかっているか確認する。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

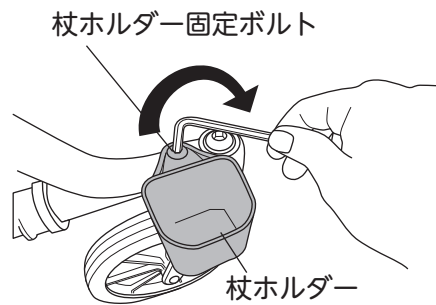
✳ ご使用の前に

杖ホルダーと杖固定具の取付位置変更方法

杖ホルダーと杖固定具は左右どちらにも取り付けることができます。(出荷時は右側)
取付位置を変更する場合は下記を参照してください。

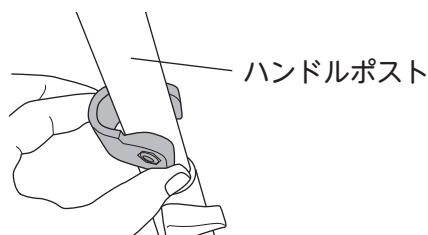
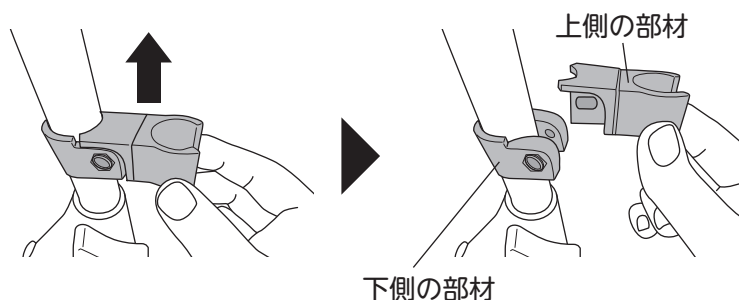
杖ホルダー

- ①杖ホルダー固定ボルトを5mmの六角レンチでゆるめ、杖ホルダーと杖ホルダー固定ボルトとナットを取り外します。
- ②左側の取付孔に固定されているボルトとナットを外し、左側の取付孔に取り付けます。
- ③左側の取付孔に①で外した杖ホルダーをボルトで取り付けます。



杖固定具

- ①固定具を固定しているボルトを5mmの六角レンチでゆるめ、ボルトを取り外します。
- ②杖固定具の上側の部材を上方にスライドして取り外します。
- ③杖固定具の下側の部材を押し広げてハンドルポストから取り外します。
- ④逆の手順で左側に取り付けます。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

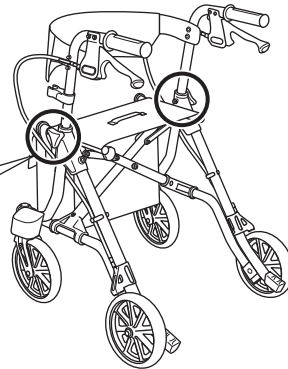
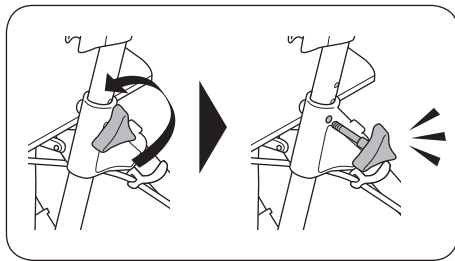
困ったときには

ハンドル高さを調節しましょう

ハンドル高さは 76 ~ 86cm の範囲で調節できます。
出荷時は一番低い高さに設定されています。

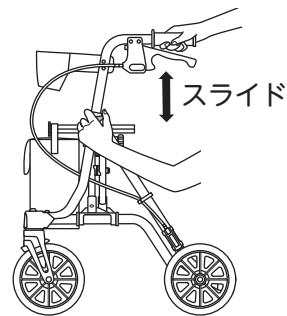
1. 高さ調節ノブボルトをゆるめて抜く

高さ調節ノブボルトをゆるめて引き抜きます。

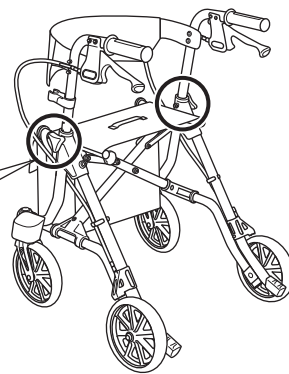
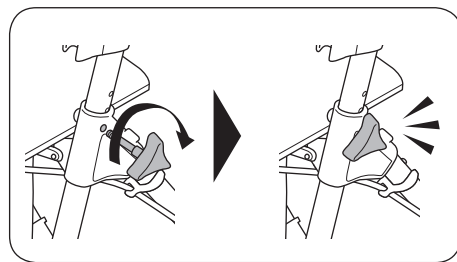


2. ハンドルの高さを合わせる

①ハンドルを上下にスライドさせ、高さを合わせます。



②高さ調節ノブボルトを差し、しめ込みます。



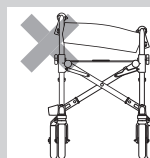
③もう片方のハンドルも同様に高さを合わせます。

警告



ハンドル高さは左右同じ高さにすること

ハンドルの高さが左右異なると、
バランスをくずして転倒し、けがの原因になります。



確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

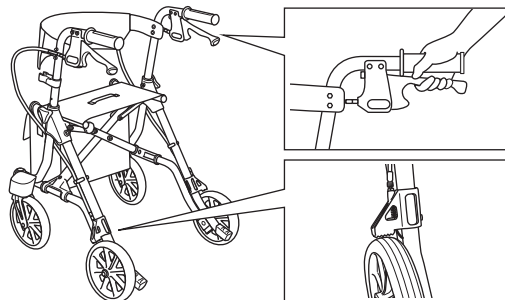
困ったときには

✳ ご使用の前に

3. ブレーキの利きを確認する

ハンドルの高さ調節をおこなった後、ブレーキの利きが変わることがあるため、ブレーキの調節をおこなってください。

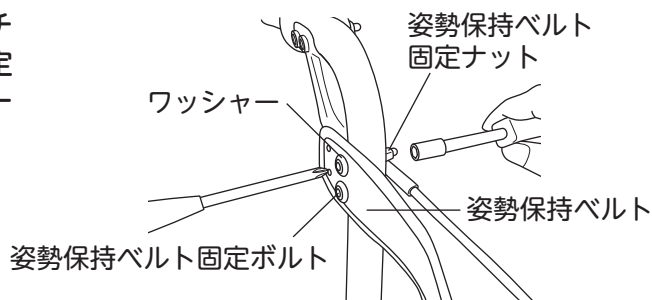
詳しくは…P.20「ブレーキの調節方法」へ



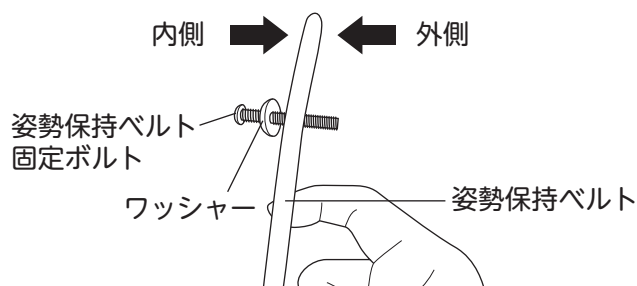
姿勢保持ベルトの長さ変更方法

姿勢保持ベルトの長さは変更することができます。(出荷時は短めに設定)
長さを変更する場合は下記を参照してください。

- ① プラスドライバーと8mmのソケットレンチを使用して、左右4カ所の姿勢保持ベルト固定ボルト姿勢保持ベルト固定ナット、ワッシャーを取り外します。



- ② 姿勢保持ベルトの端部寄りの取付孔にワッシャーを介して姿勢保持ベルト固定ボルトを差し込み、ハンドルポストに取り付けます。



- ③ 姿勢保持ベルト固定ボルトに姿勢保持ベルト固定ナットをプラスドライバーと8mmのソケットレンチを使用して締め付けます。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

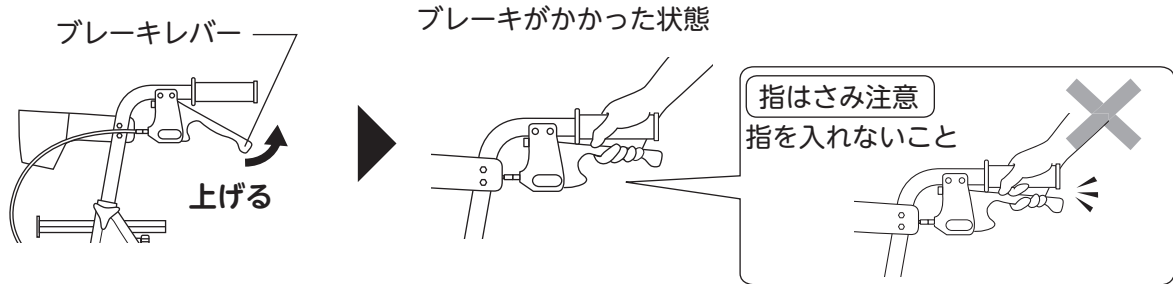
お手入れしましょう

困ったときには

操作方法

ブレーキのかけかた

ブレーキレバーを引き上げるとブレーキがかかります。
ブレーキは左右同時にかけてください。



警告

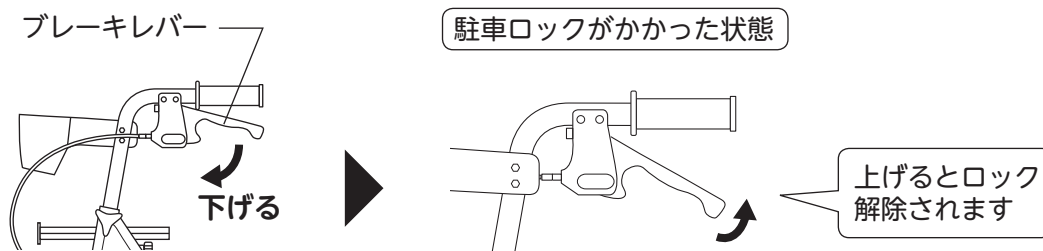


片側のみでブレーキをかけないこと

左右同時にブレーキをかけないと、車体が転倒し、けがの原因になります。

駐車ロックのかけかた

ブレーキレバーを自動で戻らなくなるまで、手で押し下げます。



座面に座るときや保管時は駐車ロックをかけましょう。

確認しましょう

！安全上の注意

✖ご使用の前に

♡使いましょう

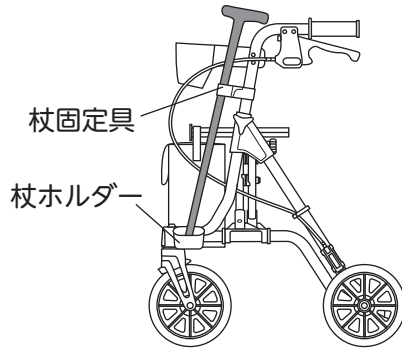
💧お手入れしましょう

？困ったときには

📖 使いましょう

杖の固定のしかた

杖の先端を杖ホルダーに入れて、杖固定具で固定してください。



警告

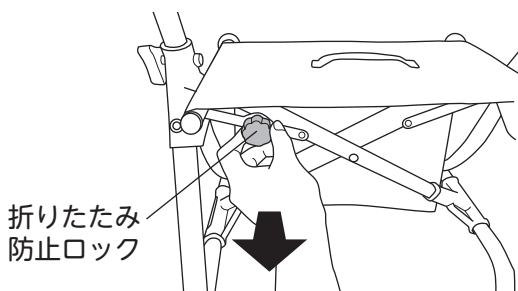


杖の先端は確実に杖ホルダーに入れること

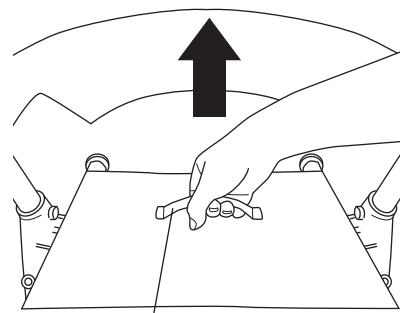
車体や後輪にはさまると歩行中にブレーキがかかり、転倒するおそれがあります。

折りたたみかた

折りたたみ防止ロックを手前に引きながら、折りたたみベルトを上方向に引っ張ります。



手前に引く



👁️ 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

🚫 ご使用の前に

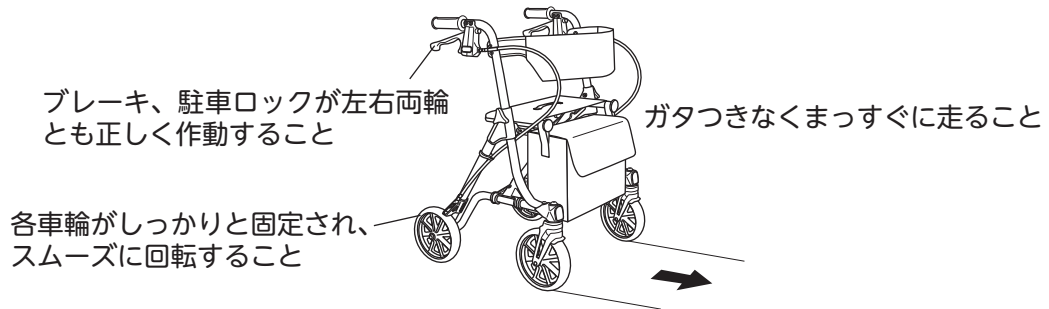
📖 使いましょう

💧 お手入れしましょう

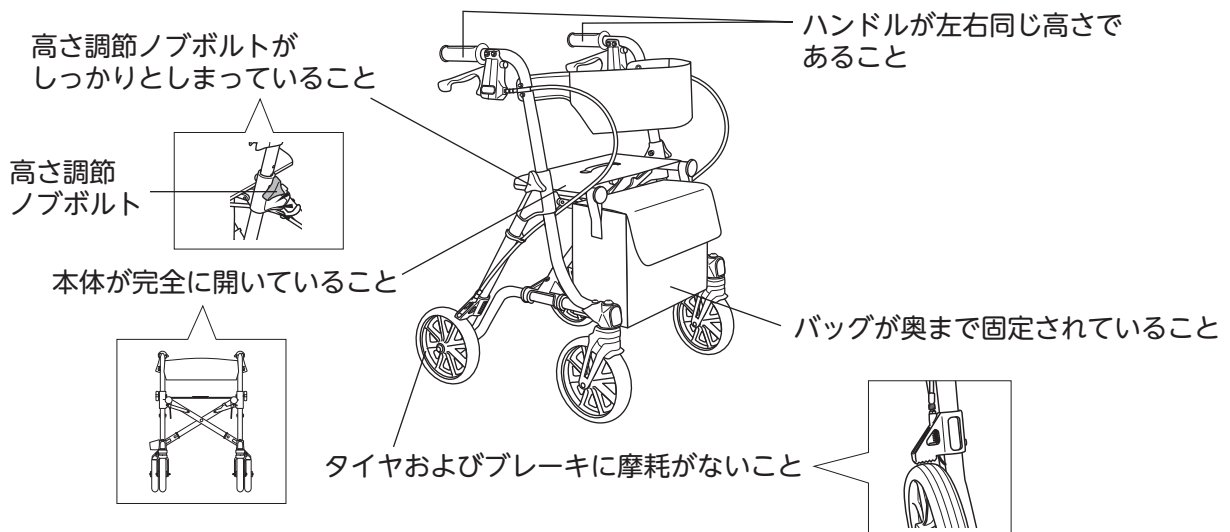
❓ 困ったときには

ご使用になる前に確認しましょう

使用前に、作動を確認してください。

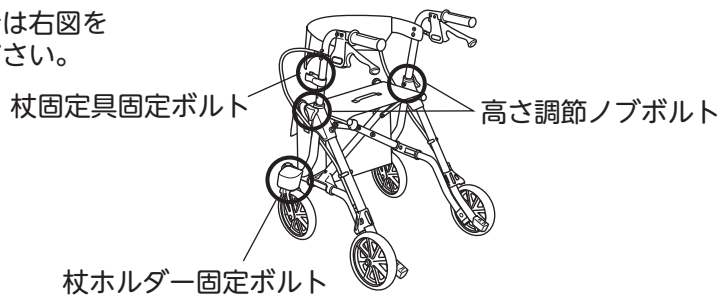


使用前に、必ず車体に異常がないかを確認してください。



各部のネジやナットがゆるんでいないこと

※確認する箇所は右図を参照してください。



不具合を感じた場合はただちに使用をやめ、お買い上げの販売店や弊社「お客様相談室」までご相談ください。

確認しましょう

安全上のご注意ください

ご使用の前に

使いましょう

お手入れしましょう

困ったときには

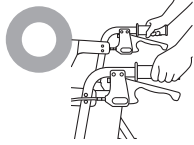
♡ 使いましょう

最大使用者体重は 150kgです。

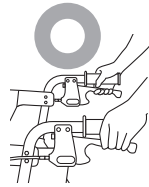
押して歩くとき

以下のことに注意してご使用ください。

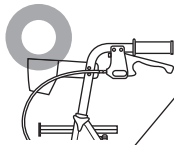
ハンドルグリップは両手で操作する



ブレーキは左右同時にかける



歩行時は駐車ロックが解除されている



傾斜地では歩行車から手を放さない

車体から離れるときは、駐車ロックをかける

後ろ向きに押さない

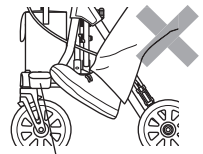
歩いて使用する

ハンドルに寄りかかったり、全体重をかけるような過度の荷重をかけない

姿勢保持ベルトに手や肘をつけて体を支えない

杖ホルダーに足をかけない

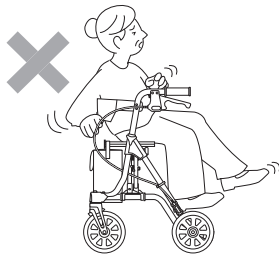
杖ホルダー



腰かけるとき

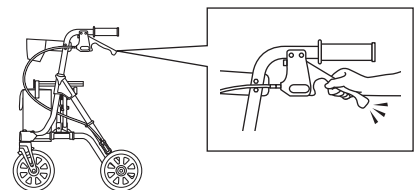
以下のことに注意してご使用ください。

姿勢保持ベルトに体を預けて寄りかからないこと



以下のときは、必ずブレーキレバーを下げ、駐車ロックをかける

- ・座面に座るとき
- ・座面から立ち上がる時



傾斜地では腰かけない

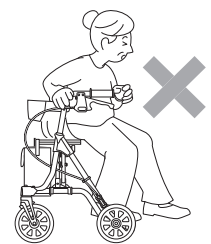
車体が移動して利用者が転倒し、けがの原因になります。



平坦で安定した場所で座ってください。

座面には深く座る

浅く座ると車体が移動する可能性があります。



また、座面以外のところには座らないでください。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用の前に

使いましょう

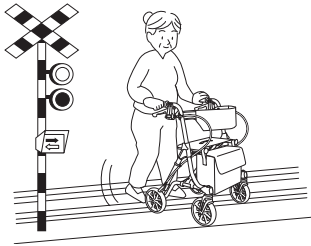
お手入れしましょう

困ったときには

ご使用いただける環境について

以下の環境では、十分に注意して使用してください。

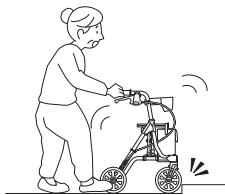
■急な坂道、踏切の横断



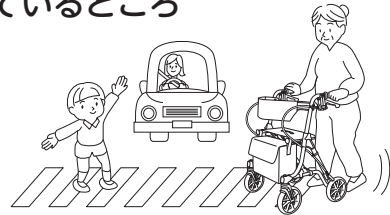
■段差および溝のあるところ

段差の手前では必ず止まり、十分に注意して慎重に段差を越えてください。

また、段差に斜めに進入すると、ハンドルをとられたり、段差に乗り上げらずにつんのめったりして、段差につまづき転倒の原因になるのでおやめください。



■交通量の多いところ、混雑しているところ



■夜間など、見通しの悪い環境



■滑りやすい床での使用

- ・ワックスをかけた床
- ・大理石の床など



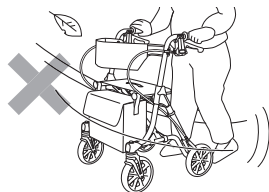
以下の環境では、使用しないでください。

■雨、雪の日など、路面が滑りやすい時は使用しないこと

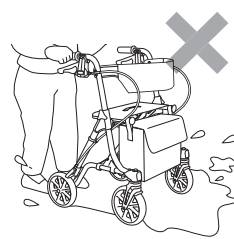


■風が強い時は使用しないこと

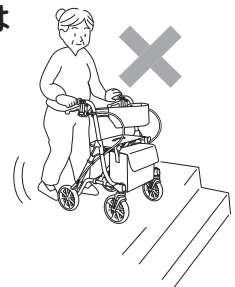
車体が勝手に動きだす原因になります。



■砂、泥のある場所、特にぬかるみや水たまりでは使用しないこと



■階段やエスカレーターでは使用しないこと



確認しましょう

！安全上のご注意

✖ご使用の前に

♡使いましょ

💧お手入れしましょ

？困ったときには

🔴 お手入れしましょう

下記の手順に従ってこまめにお手入れしてください。

👁️ 確認しましょう

警告



分解禁止

**改造はしないこと
また、修理技術者以外の方は、分解したり修理しないこと**
本体機能が正常にはたらかず、けがの原因になります。

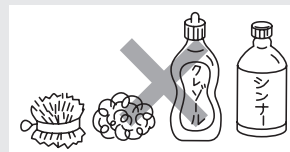
注意



次にあげるものではお手入れしないこと

- ・塩素系洗剤 ・タワシ ・酸、アルカリ性洗剤
- ・研磨剤入りのスポンジ ・シンナー ・磨き粉
- ・クレゾール ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒
- ・その他製品を傷付けるもの ・熱湯

劣化および破損の原因になります。



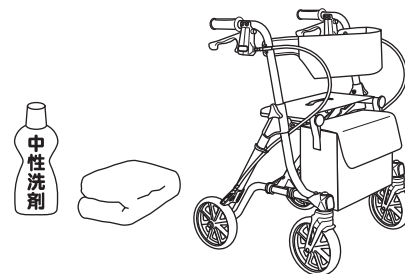
! 安全上の「注意」

✖️ ご使用の前に

お手入れのしかた

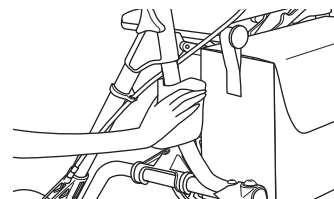
日常のお手入れ方法

※汚れがひどい場合は、中性洗剤を染み込ませた布で汚れをふきとり、その後、水でぬらした布で洗剤をふきとり、よく乾かしてください。



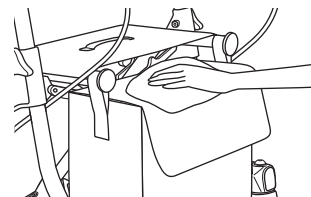
金属部分・樹脂部分

- 雨などでぬれた場合は、乾いた布でふきとってください。
- 泥やほこりがついた場合は、水でぬらした布を固くしぼってふきとり、その後、乾いた布でふいてください。



バッグ・座面

- 水でぬらした布を固くしぼってふきとり、その後、よく乾かしてください。



👁️ 使いましょう

🔴 お手入れしましょう

? 困ったときには

保管時の注意

「安全上のご注意」をご確認ください。

← 詳しくは…P.8 へ

ブレーキの調節方法

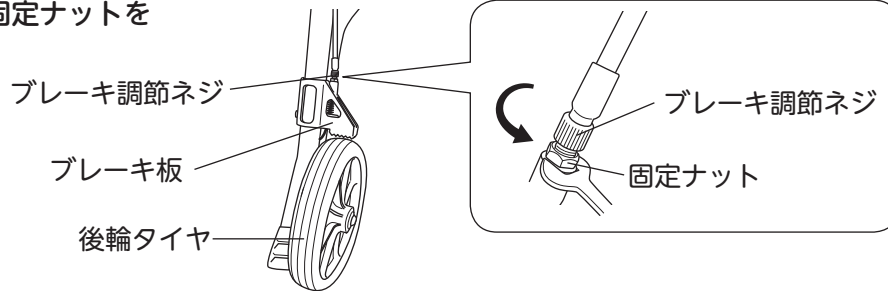
準備するもの

スパナ (8mm)

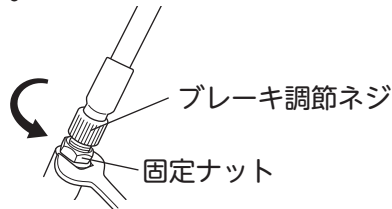


ブレーキが利きにくくなった場合、ブレーキ調節ネジでブレーキ板の位置を調節してください。

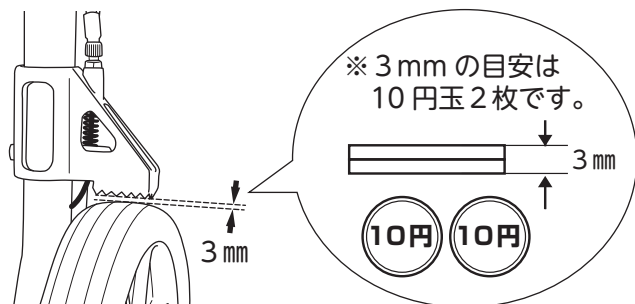
- ① 8mm のスパナを使って固定ナットをゆるめます。



- ② ブレーキ調節ネジを反時計回りに回します。



- ③ ブレーキ板とタイヤのすき間が 3mm ぐらいになるように調節してください。すき間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調節ネジを逆方向に回して調節してください。



- ④ 固定ナットをもとの位置までしめ付けてください。

消毒方法

消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。

製品の消毒は、アルコール清拭消毒、逆性石けん清拭消毒などを推奨します。製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。

注意



消毒に、オゾンガス、ホルムアルデヒドガスは使用しないこと
製品が破損する原因になります。

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

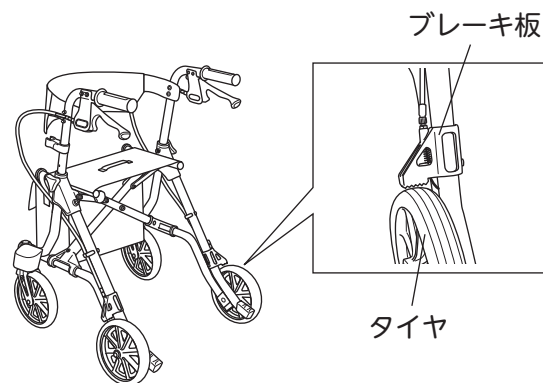
困ったときには

👉 お手入れしましょう

注油について

さしみ音が発生したり作動が鈍い時は、泥や汚れをふきとってから原因の箇所少量のシリコン系潤滑油を注油してください。

タイヤ、ブレーキ板に油がつかないように注意し、もし付着した場合はよくふきとってください。



タイヤ交換時期の目安

P.20「ブレーキの調節方法」の通りにブレーキを調節してもブレーキ板とタイヤのすき間が3mm以上あいてしまうようであれば交換時期です。

※上記の交換時期は摩耗による交換時期の目安です。

長期の使用による素材の劣化（ひび割れなど）が見られる場合は、ただちに交換してください。

※タイヤ交換はお買い求めの販売店にお問い合わせください。

👉 確認しましょう

⚠️ 安全上の注意

✖️ 使用前に

👉 使いましょ

👉 お手入れしましょ

❓ 困ったときには

? 困ったときには

保証とアフターサービス

商品のご購入に関するお問い合わせ、ご相談は…お買い求めの販売店へ
商品の仕様などに関するお問い合わせ、ご相談は…下記お客様相談室へ

不具合が発生したとき

万一故障したり、また異常を感じた場合は、ご自分で修理、改造などを絶対にしないで、お買い上げの販売店にご相談ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って修理させていただきますので、製品に保証書（取扱説明書）を添えて、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業、作業員の出張にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

アロン化成株式会社

フリーダイヤル

お客様相談室 ☎ 0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の
月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00 は除く)

確認しましょう

安全上の注意

ご使用前に

使いましょう

お手入れしましょう

? 困ったときには

※本製品をほかの方にお譲りになる場合は、必ず本書もあわせてお渡してください。

保証とアフターサービス よくお読みください

※下記の保証内容は商品をご購入頂いたお客様向けのもので、レンタル（貸与）でご利用されたお客様はサービスを受けた福祉用具貸与事業者へお問い合わせください。

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様が取扱説明書・本体添付シール等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に万一故障した場合には、本保証書記載内容により無料修理いたします。有効期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. 修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。修理に際しては、本保証書をご提示、もしくは添えてください。
2. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、お客様相談室にご相談ください。
3. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
4. 保証期間内でも下記の場合は、有料修理になります。
 - 1) 保証書のご提示がない場合。
 - 2) 本保証書のお買い上げ日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 3) 使用上の誤り、あるいは改造、修理、調整による故障または損傷。
 - 4) お買い上げ後の輸送、移動、落下、その他の不適切な取り扱いによる故障または損傷。
 - 5) 火災、地震、塩害、ガス害、風水害、落雷、その他の天災地変による故障または損傷。
 - 6) タイヤなど消耗品の損傷及び汚れ。
 - 7) 業務用または一般家庭用以外にご使用の場合の故障または損傷。
5. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

〈個人情報の取扱いについて〉

- 1) 保証書にご記入いただいた住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用いたします。
なお、本書にてお預かりするお客様の個人情報をお客様の同意を得ることなく、第三者に提供または開示いたしません。
- 2) 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を委託する場合、守秘義務契約を結び当社と同等の水準でお客様の個人情報を取り扱うように管理いたします。

★お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年
お客様	ご住所 〒 ご番 この保証書はご使用できません
★販売店	住 所 〒 店 名 TEL

★ 印欄に記入のない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
もし記入のない場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

■保証書について

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、保証書内容をよくお読みの上、大切に保管してください。尚、保証書の再発行はいたしません。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル ☎0120-86-7735

(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>

安寿

検索

15.08 919079